

水戸市民会館

今回は、茨城県水戸市において令和5年7月に開館した「水戸市民会館」について取材してきました。新たに竣工した水戸市民会館は、2011年東日本大震災により被災した旧市民会館から移転し、建て替えられた複合施設です。令和5年度木材利用優良施設等コンクールにおいて環境大臣賞を受賞しています。



国道50号側交差点からの外観。左手奥を進むと水戸芸術館へ通じ、道路を挟んだ右手前方向に京成百貨店が建ち並びます。水戸市民会館を含めた3施設は「MitoriO（ミトリオ）」という愛称で親しまれ、市街地中心部の活性化を図る拠点となっています。

外観は全面ガラス張りで、先進的な佇まいを感じさせてくれます。周辺の街並みを反射させることによって、一体的な調和を生み出しつつ、内部には木架構が浮き立ち、重厚な印象を受けます。地上4階地下2階建て、主構造は鉄筋コンクリート造、一部に耐火木造と鉄骨造が配置された混構造の建築物です。

大・中・小の3つのホール、複数の会議室、展示スペース、和室、屋上庭園など年間を通じて市民が憩い、様々な催しや情報の発信ができる最適な空間を提供しています。

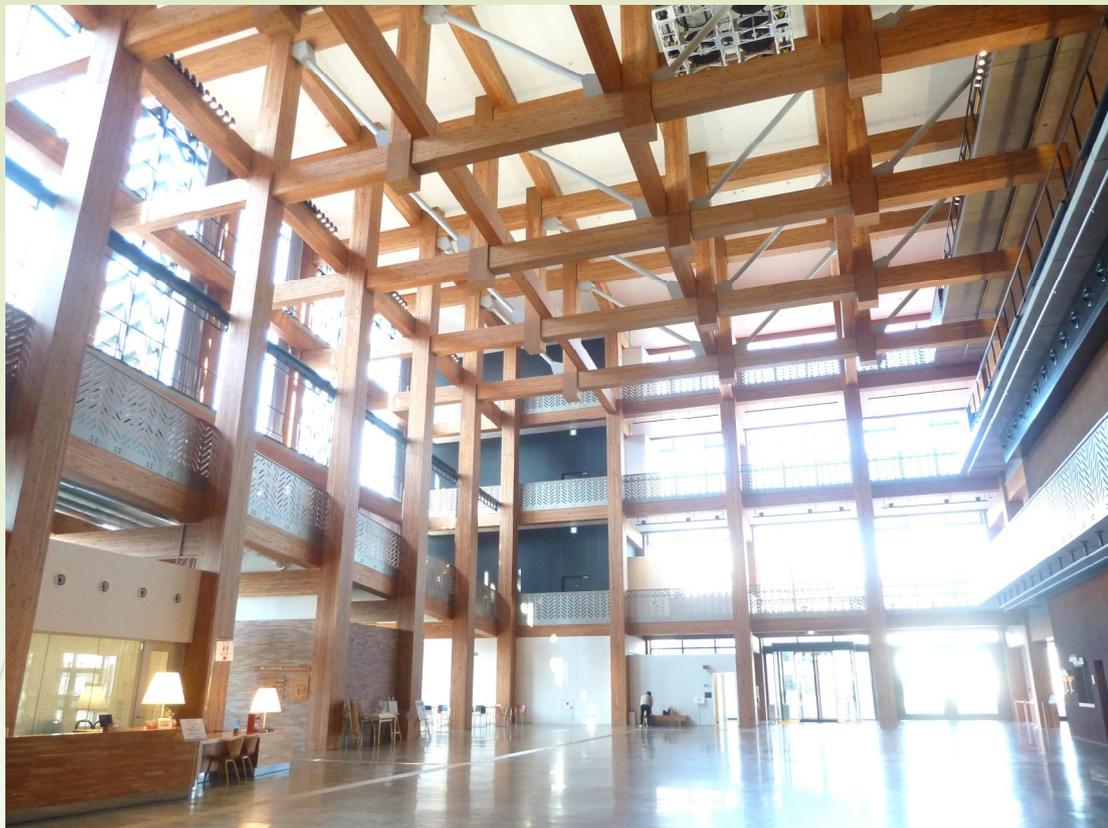


国道側の1階にあるエントランス広場は、木枠を施した案内版が設置されていて、ミニコンサートやワークショップ、即時販売なども開催できる使い勝手の良い空間です。通行する多くの人達の視線と足先をさりげなく建物へ向かわせる役割を果たしています。



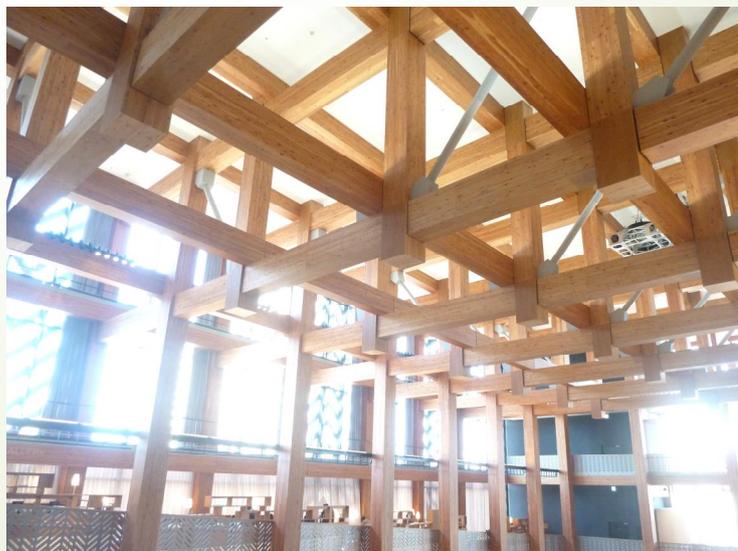
館内に一歩足を踏み入れると一気に静謐な空気に包まれます。長さ17.5mのパンフレットの置き台を左手に見ながら、南北の動線に導かれ、スロープ状に下った先に広がる光あふれる大空間が垣間見えてきます。

エントランスロビー奥に掲示されているフロアガイド。館内のガイド板は、集成材で作成され、温かみのある色調で統一されています。



建物を象徴する「やぐら広場」。西面と北面から光を多く取り入れて、やぐら状のダイナミックな木架構を強調し、荘厳な景観を見せてくれます。広場の平面は20m×40m。天井部の最大スパンは20m、天井高は19.25m。舞台音響や舞台照明も設置することができ、多様なイベントに対応できます。

水戸市民会館の構造における最大の特徴は、木造大架構の4層吹き抜け空間である「やぐら広場」に集約されています。広場を囲うように林立する大断面の柱と梁は、1時間耐火仕様の燃エンウッド(株式会社竹中工務店)を採用し、木材を現しとしています。柱は長野県産のカラマツ集成材(650mm×650mm)、梁も同様のカラマツ集成材(最大685mm×530mm)で構成されています。



3階南側のホワイエから見る天井トラス。柱と梁がずれるやぐら状の木組みがよく分かります。直交する木組みの間隔と鉄骨部材の角度や長さも構造上の関係から少しずつ違ってきます。

「やぐら広場」を覆う天井部は、耐火集成材と鉄骨によるハイブリッドトラスとなっています。柱と梁がずれる、やぐら状の木組みの構造で斜材となる鉄骨部材は、耐火集成の木部への入熱を抑えるため、3時間相当の耐火被覆で保護されています。

また、各階の吹き抜け浴いには、とり囲むように通路やホールへ通じるホワイエが設けられていて、広場で催されるイベントを様々な角度から見学できるように配慮されています。

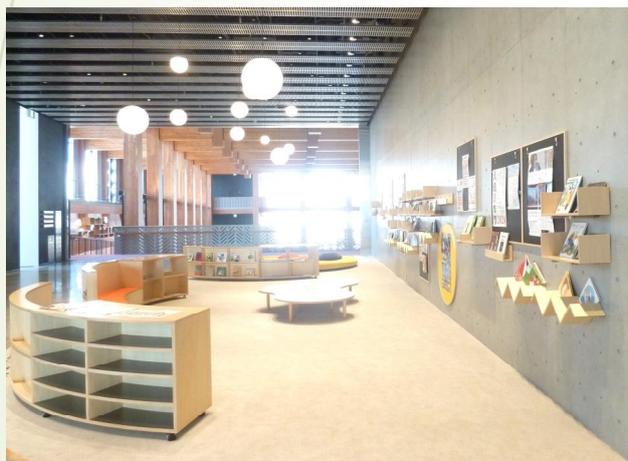
館内には市民が普段使いできる空間を随所に設けています。2階のラウンジギャラリーと、こどもギャラリー、3階のミーティングラウンジ、4階のホワイエが挙げられますが、書棚や机、カウンター、ベンチなど建物全体の造作家具のデザインも非常に優れています。自らの感性に委ねた魅力ある場所を探し出す楽しみがあります。



2階のラウンジギャラリー。「やぐら広場」の上部に併設された特別な空間は、集中力を高めたりリラックスできる自由な時間を過ごすことができます。



1階のエントランスロビーに設置されているベンチ。カラマツ集成材で作成されています。



2階のこどもギャラリー。親子で楽しい時間を過ごせるように変わった形の家具や大きなベンチがあります。



4階のホワイエには、カウンターとベンチが連続する家具が配置されています。3階と4階の南西面からは、偕楽園や千波湖、遠く筑波山まで見通すことができます。

取材当日の水戸市民会館は、夫婦や親子連れ、オーケストラを練習する音楽家など、訪れる人が絶えることがなく、児童らを対象にしたワークショップも開催されていて、笑顔にあふれ、明るい声が響く場所でした。

開館からさほど時間は経っていませんが、すでに市民の心の拠り所として、常に好奇心を掻き立てる存在であるとともに、強い愛着を感じる地域を代表する建築物となっています。幅広い世代に長く利用されることによって、木造化の価値を伝えてくれます。

施行者：泉町1丁目北地区市街地再開発組合

施設建築物基本・実施設計：伊東豊雄建築設計事務所・横須賀満夫建築設計事務所共同企業体

工事監理

施設建築物新築工事：竹中・株木・鈴木良・葵・関根特定建築工事共同企業体

敷地面積：8,284.95㎡ 建築面積：6,952.37㎡ 延床面積：23,232.35㎡

最高高さ：34.41m 軒の高さ：34.01m

環境認証：CASBEE Aランク、BELS 5つ星、ZEB Oriented